2020年度自然環境論コース修士論文発表会

2021年2月16日(火)8:45~18:30

鶴甲第2キャンパス F257 教室

8:45 《開会の挨拶》

## 【環境物理】

- 8:50 オンライン科学教育活動の特性評価の試み
- 9:15 FORCE ミッションシミュレーションに向けた Ray tracing の整備と評価
- 宇宙ガンマ線精密観測 GRAINE を実現する原子核乾板時刻付与機構の研究~ 9:40 次期気球実験に向けた多段シフターフライトモデルの開発~

## 10:05 休憩

- 交流インピーダンス法を用いた臭化テトラブチルアンモニウムセミクラスレ 10:15
- ートハイドレートの電気化学特性評価
- 10:40 交流インピーダンス法を用いた TBAB 26H2O 内における固相転移の観察
  - 氷天体における氷地殻下部再現にむけた透明高圧装置の開発と氷成長のその
- 11:05 場開発
- 11:30 大阪湾近傍の花崗岩に含まれる石英の ESR 信号の評価〜沖ノ瀬の砂の起源の 特定に向けて〜

## 11:55 昼休憩

## 【生物環境】

- 12:45 植物 RuBisCO の大腸菌における機能発現系の構築
- 光合成 CO2 固定酵素 RuBisCO 機能改良のためのランダム変異スクリーニン 13:10 グ

13:35	環境 DNA 分析による海棲動物の繁殖期推定
14:00	環境 DNA メタバーコーディングを用いたトンボ目多様性評価に関する研究
14:25	環境 RNA 分析手法の実用性に関する研究
14:50	休憩
4 = 00	
15:00	性的共食いを受けた雄の交尾行動調節とその適応的意義
【物質環境】	
15:25	振動分光法を用いたεポリ (L) リジンの吸水による高次構造の変化の研究
	ラマン及び赤外スペクトルに現れる水とアクリル酸系高級水性樹脂中の水の
15:50	振動モードの比較
	テラヘルツおよび低波数ラマン分光法によるポリ(グリコリド-co-ラクチド)共
16:15	重合体の組成比変化に伴う高次構造の研究
16:40	休憩
16:40	休憩
16:40	休憩
<b>16:40</b> 16:50	<b>休憩</b> ローリングサークル増幅によるウイルスゲノム RNA の等温増幅
16:50 17:15	ローリングサークル増幅によるウイルスゲノム RNA の等温増幅
16:50	ローリングサークル増幅によるウイルスゲノム RNA の等温増幅 RNA 増幅法を用いたウイルス高感度検出法の開発
16:50 17:15	ローリングサークル増幅によるウイルスゲノム RNA の等温増幅 RNA 増幅法を用いたウイルス高感度検出法の開発 兵庫県千種川の河川水と流域の降水中の酸素・水素安定同位体比の特徴および
16:50 17:15 【地球環境】	ローリングサークル増幅によるウイルスゲノム RNA の等温増幅 RNA 増幅法を用いたウイルス高感度検出法の開発 兵庫県千種川の河川水と流域の降水中の酸素・水素安定同位体比の特徴および 同河川の水循環機構の推定
16:50 17:15 【地球環境】	ローリングサークル増幅によるウイルスゲノム RNA の等温増幅 RNA 増幅法を用いたウイルス高感度検出法の開発 兵庫県千種川の河川水と流域の降水中の酸素・水素安定同位体比の特徴および 同河川の水循環機構の推定 北海道苫小牧沖における過去 16,600 年間の底生有孔虫群集と溶存酸素極小層
16:50 17:15 【地球環境】 17:40	ローリングサークル増幅によるウイルスゲノム RNA の等温増幅 RNA 増幅法を用いたウイルス高感度検出法の開発 兵庫県千種川の河川水と流域の降水中の酸素・水素安定同位体比の特徴および 同河川の水循環機構の推定
16:50 17:15 【地球環境】 17:40	ローリングサークル増幅によるウイルスゲノム RNA の等温増幅 RNA 増幅法を用いたウイルス高感度検出法の開発 兵庫県千種川の河川水と流域の降水中の酸素・水素安定同位体比の特徴および 同河川の水循環機構の推定 北海道苫小牧沖における過去 16,600 年間の底生有孔虫群集と溶存酸素極小層